

試料・情報利用研究計画書(概要)

研究番号	2023-2013	利用形態	内部研究		
研究題目	東北メディカル・メガバンク計画による地域住民コホート並びに三世代コホート調査参加者の東日本大震災後の死因分析およびそのリスク要因の検討		研究期間	2023年11月 ~ 2026年3月	
主たる研究機関	東北メディカル・メガバンク機構		責任者 氏名・職	寶澤 篤	教授
分担研究機関	-		責任者 氏名・職	-	-
研究目的と意義	東日本大震災が被災地の住民に与えた健康への影響とその健康支援のあり方の検討のため、特に、高血圧症や糖尿病などの被災に伴う生活習慣やストレス要因の急変に起因するようがん、循環器疾患、自殺による死亡の背景を、人口動態調査死因データと両コホート調査参加者のデータを突合し、詳細な死因の検討を行う。				
研究計画概要	東北メディカル・メガバンク計画のコホート調査(ベースライン調査データ)を用いて解析を実施する。主な解析計画は以下の通り 1. 東日本大震災の被災に関わる関連要因の有無別のがん罹患・死亡の比較東日本大震災の被災経験の有無および家屋損壊の程度、親族等の喪失、心的トラウマ反応、経済的な影響、震災による治療の中断の経験などがん死亡との関連を検討する。 2. 急性心筋梗塞等の冠動脈疾患による死亡のリスク要因の検討救急搬送された際にすでに死亡(death on arrival, DOA)している冠動脈疾患患者の、コホート調査により死亡前に得られている生活習慣や血液・尿検査、生理学的検査、ゲノム・メタボローム情報等の関連要因を検討する。 3. 東日本大震災に関わる被災体験を含めた自殺死亡のリスク要因の検討震災後に自殺にて死亡した方の背景について、既遂前の調査により把握できている、質問紙票調査によるストレス状況や、睡眠状況、飲酒・喫煙などの生活習慣、被災体験などの状況、血液・尿検査、生理学的検査結果の関連要因を検討する。				
利用試料・情報	対象: 地域住民コホート特定健診相乗り型・宮城地域支援センター型・岩手サテライト型、三世代コホート・三世代コホートヘプタファミリー 試料: なし 情報: ベースライン調査				
期待される成果	コホート調査参加者の追跡を行い詳細な死因の検討を行うことは、コホート研究において不可欠であり、結果として、成果の発信、更なる研究の推進につながりメガバンク事業に資することが考えられる。				
倫理審査等の経過	2013年3月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認(「地域住民コホート調査」の一環として実施) 2013年7月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認(「三世代コホート調査」の一環として実施)				
倫理面、セキュリティー面の配慮	・東北メディカル・メガバンク計画全体計画に人口動態調査死因データを含む公的データによる追跡が含まれており、公的データでの追跡を行う点について、コホート参加者へのインフォームドコンセントを行っている。 ・東北大学大学院医学系研究科倫理委員会において審議・承認(平成25年5月)				
その他特記事項	この研究は東北メディカル・メガバンク事業補助金により実施します。				
(事務局使用欄)	*公開日 2024年1月23日				